

LIXIL

スポットライト
LSJ-3型

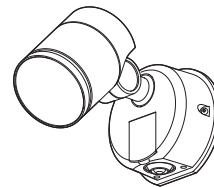
取扱説明書

保管用

LH8VLF48NK-T3A1

お願い 施工時、使用の前に検知範囲、お出迎え時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に
依頼してください。



注) この商品は人を検知して、フラッシングで人を威かする機能を持っていますが、侵入、盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。**安全上のご注意**

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。


  してはいけない内容です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。


 実行しなければならない内容です。

警告


●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店・
工事店にご相談ください。

 **分解禁止** ●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれが
あります。

必ず守る ●ランプは適合のものを使用する
間違った種類、ワット数のランプを使用すると、
火災のおそれがあります。

 **禁止** ●アルカリ系洗剤は使用しない
守らないと、強度低下により破損し、
落下するおそれがあります。


●フランジカバーは必ず取り付けて使用する
フランジカバーを外したまま使用すると水が
浸入し、感電・故障の原因となります。

 **必ず守る** ●照射方向を調整したあとは、
必ず固定ネジを増し締めする
締め付けが不完全な場合、浸水による火災、
感電のおそれがあります。

●カバーは確実に取り付ける
締め付けが不完全な場合、落下によるけがや
浸水による火災、感電のおそれがあります。


注意

●照明器具には耐用年限があります。設置して10年
経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は
進行しています。点検・交換してください。

 **必ず守る** ●ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることが
あります。

必ず守る ●点検せずに長期間使い続けるとまれに
火災、感電、落下などに至る場合があります。

●1年に1回は「安全チェックシート」(裏表紙)
に基づき自主点検してください。
点検を行っていても、耐用の限度を超えて
使用すると、火災、感電、落下などに至る場合が
あります。

 **禁止** ●器具に直射日光が当たる状態で点灯させない
温度上昇によるランプの短寿命や一時的な明るさ
低下・不点灯の原因となることがあります。

●器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。

●可動範囲を越えて灯具を無理に動かさない
感電、器具破損・落下によるけがの原因と
なることがあります。

注意



- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。
- 可動部のスキマに指を入れない
けがの原因となることがあります。



- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
- お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ

調整ツマミの設定はフランジカバーを外して行ってください

- カバーの外しかたは
☞ 6ページ「ランプを交換する」参照

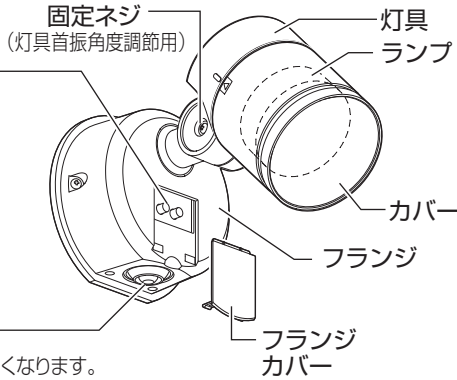
調整ツマミ

使いかたに合わせて、調整してください。(☞ 4~5ページ参照)

検知部

- ・周囲の明るさを検知する「明るさセンサ」と、人の動きによる温度変化を検知する「人センサ」が内蔵されています。
- ・全方向に約20度動きます。
- ・連続点灯中は赤く点灯*します。

*)周囲が明るい場合は検知部の点灯が見えにくくなります。

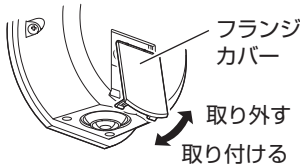


<灯具の可動範囲について>

- 首振角度 約90°
 - 回転角度 約330°
- 固定ネジ
- ・首振角度を調節するには固定ネジを緩めてください。(緩めすぎると固定ネジが外れますのでご注意ください。)

<フランジカバーの取り外し・取り付けかた>

フランジカバーは必ず取り付けて使用してください。
フランジカバーを外したまま使用すると水が浸入し、感電、故障の原因となります。



警告

- 首振角度を調整したあとは、必ず固定ネジを増し締めする
締め付けが不完全な場合、浸水による火災、感電のおそれがあります。

調整ツマミのはたらき

●「点灯する周囲の明るさ」ツマミ

周囲がどれくらい暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるかを調整します。
・右に回すほど、明るいうちから動作するようになります。

・昼間など明るいうちから動作させたい場合は、「明」に合わせてご使用ください。

注)「テスト」に合わせると、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。
人が検知範囲から外に出てから約5秒後に消灯し、検知範囲を確認するときのテストモードとなります。

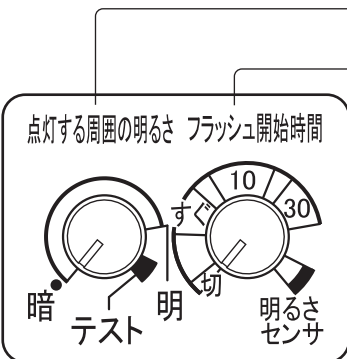
●「フラッシュ開始時間」ツマミ

防犯すぐモード、防犯設定時間後モード(☞ 3, 4ページ参照)で使用時、検知範囲に人が入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるかを調整します。

・「すぐ」、「10」秒後、「30」秒後から選べます。

ON/OFFモード(☞ 3, 5ページ参照)で使用するときは「切」に設定します。

明るさセンサモード(☞ 3, 5ページ参照)で使用する場合は「明るさセンサ」にします。



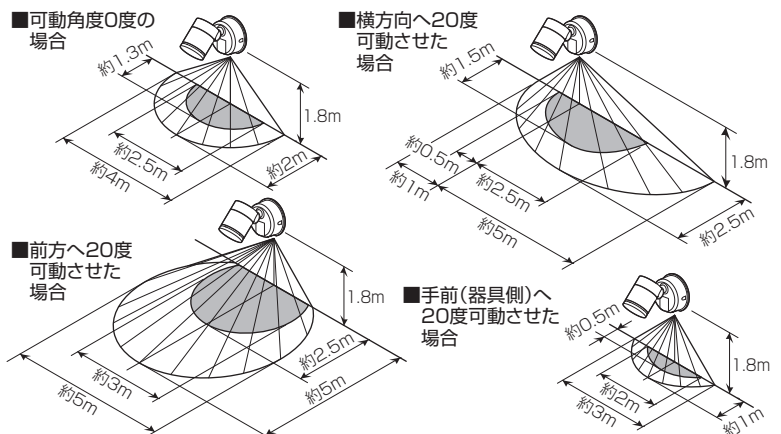
センサの検知範囲

- センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます。)

- 器具の取り付け高さ1.8m(標準)~3mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲

(注) ●は別売エリアカットフード(パナソニック(株)品番:HK279020)を取り付けた時の検知範囲です。



ご注意

- ・この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車、換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- ・検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- ・夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- ・センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。

使いかた

センサによる点灯

- 壁スイッチは常時ONで使用してください。センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
- ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整つまみを設定してください。センサによる点灯動作は、「防犯すぐモード」、「防犯時間設定後モード」、「ON/OFFモード」、「明るさセンサモード」4種類のいずれかから選べます。

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯に使いたい

→ 防犯すぐモード の動作説明

調整つまみの設定方法 4ページ

昼間、周囲が明るいとき 周囲の動作		昼間、明るいときは消灯		人が近づくとすぐにフラッシング		約10秒間フラッシングした後、消灯(注1)		
夜間、周囲が暗いとき 周囲の動作		消灯		人が近づくとすぐにフラッシング		約10秒間フラッシングした後、点灯したままに		人がいなくなると約1分後、消灯

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯に使いたい

→ 防犯設定時間後モード の動作説明

調整つまみの設定方法 4ページ

昼間、周囲が明るいとき 周囲の動作		昼間、明るいときは消灯		人が近づいても照明は消灯したまま(検知部が赤く点滅(注2))		人が約10秒間、または約30秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング(注3)		約10秒間フラッシングした後、消灯(注1)		
夜間、周囲が暗いとき 周囲の動作		消灯		人が近づくと照明が点灯		人が約10秒間、または約30秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング(注3)		約10秒間フラッシングした後、点灯したままに		人がいなくなると約1分後、消灯

(注1)人がいなくなると約1分間経過しないと、次回の警告動作を開始しません。

(注2)周囲が明るい場合は検知部の点滅が見えにくくなります。

(注3)検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままではフラッシングを開始しません。

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

→ ON/OFFモード の動作説明

調整つまみの設定方法 5ページ

	昼間、明るいときは消灯		周囲が暗くなっても人がいないときは消灯		人が近づくと照明が点灯		人がいなくなると約1分後、消灯
--	-------------	--	---------------------	--	-------------	--	-----------------

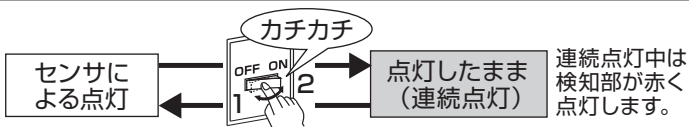
まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

→ 明るさセンサモード の動作説明

調整つまみの設定方法 5ページ

	昼間、明るいときは消灯		周囲が暗くなると自動的に点灯		暗い間は人がいてもいなくてもずっと点灯
--	-------------	--	----------------	--	---------------------

人がいない時も点灯したままにする(連続点灯)



- 切り替えかた
壁スイッチがONの状態から素早く(約1秒以内に)OFF→ONにする
- センサによる点灯に戻す
再度、壁スイッチがONの状態から素早く(約1秒以内に)OFF→ONにする
- 壁スイッチ1個で2台以上のセンサ照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

メモ

- つまみで設定した明るさより周囲が暗いときだけ点灯状態を切り替えることができます。
- 連続点灯のままにしても、朝になって周囲が明るくなると自動的に消灯します。再び暗くなるとセンサによる点灯に戻ります。
- 日中も暗い場所や天候の影響で周囲が暗い場合、朝になっても消灯しないことがあります。最長15時間でセンサでの点灯に戻ります。
- 約1秒以内の短い停電が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。
- 周囲が明るい場合は検知部の点灯が見えにくくなります。

調整つまみを設定する

防犯すぐモード、防犯設定時間後モード で使用する場合

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯にしたい

→ 防犯すぐモード の動作説明

周囲が明るいとき 昼間の動作		▶		▶		▶	約10秒間フラッシングした後、消灯(注1)
周囲が暗いとき 夜間の動作		▶		▶		▶	約10秒間フラッシングした後、点灯したままに
						▶	人がいなくなって約1分後、消灯

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯にしたい

→ 防犯設定時間後モード の動作説明

周囲が明るいとき 昼間の動作		▶		▶		▶	約10秒間フラッシングした後、消灯(注1)
周囲が暗いとき 夜間の動作		▶		▶		▶	約10秒間フラッシングした後、点灯したままに
						▶	人がいなくなって約1分後、消灯

(注1) 人がいなくなって約1分間経過しないと、次回の警告動作を開始しません。

(注2) 周囲が明るい場合は検知部の点滅が見えにくくなります。

(注3) 検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままにいる場合にはフラッシングを開始しません。

調整つまみの設定方法

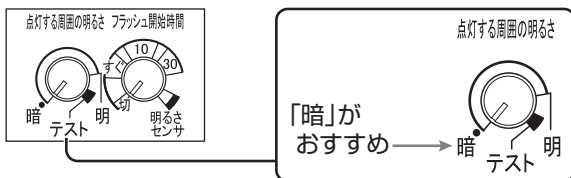
以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」つまみで、どれくらい周囲が暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるかを設定する



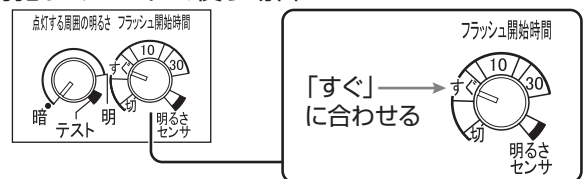
● 明(右方向)に回すほど、明るいうちから「夜間の動作」になります。

(注) 「テスト」に合わせた状態で使用しないでください。

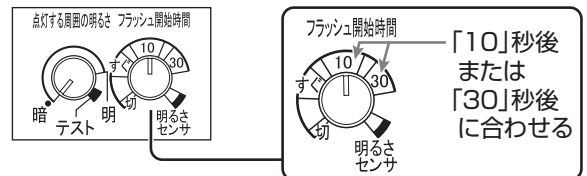
「防犯すぐモード」、「防犯設定時間後モード」が正常に動作しません。

4 「フラッシュ開始時間」つまみで、検知範囲に入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるかを設定する

■ 防犯すぐモードで使う場合



■ 防犯設定時間後モードで使う場合



5 フランジカバーを取り付ける

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

6 壁スイッチをONにする

→ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

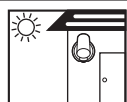
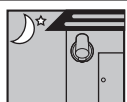
● 壁スイッチは、常時ONでお使いください。

調整つまみを設定する

ON/OFFモード で使用する場合

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

ON/OFFモード の動作説明

昼間、明るいときは
消灯周囲が暗くなっても
人がいないときは消灯人が近づくと照明が
点灯人がいなくなると
約1分後、消灯

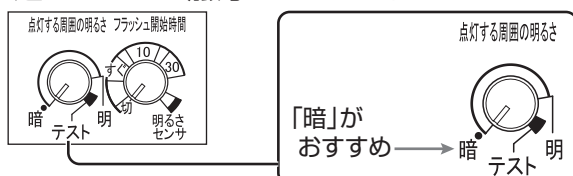
調整つまみの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」つまみで
どれくらい周囲が暗くなったら、
人が近づいたとき点灯させるか を設定する

- 明(右方向)に回すほど、明るいうちから人が近づいたときに点灯します。
- 「テスト」に合わせると、明るさに関係なく人が近づいたときに点灯します。

4 「フラッシュ開始時間」つまみを
「切」に設定する

5 フランジカバーを取り付ける

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

6 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

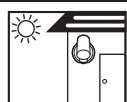
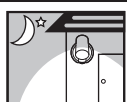
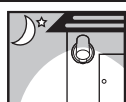
- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

調整つまみを設定する

明るさセンサモード で使用する場合

まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

明るさセンサモード の動作説明

昼間、明るいときは
消灯周囲が暗くなると
自動的に点灯暗い間は人がいても
いなくてもずっと点灯

調整つまみの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

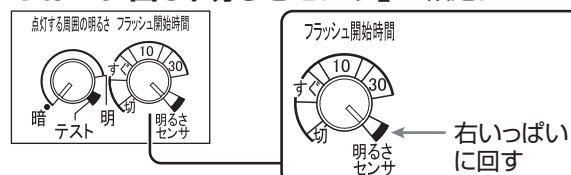
1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」つまみで
どれくらい周囲が暗くなったら、
点灯が始まるか を設定する

- 明(右方向)に回すほど、明るいうちから「夜間の動作」になります。
- (注) 「テスト」に合わせた状態で使用しないでください。
「明るさセンサモード」が正常に動作しません。

4 「フラッシュ開始時間」つまみを
右いっぱい回し「明るさセンサ」に設定する

5 フランジカバーを取り付ける

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

6 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【 器具自体の留意点 】

- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- ランプはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ランプを交換しても点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。

【 周囲の影響 】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

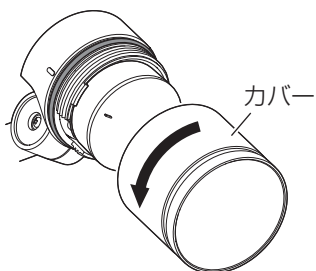
- ランプの明るさが低下するとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- 交換ランプは取り外したランプの背面表示をご確認ください。
- パナソニック製ランプとの交換を推奨します。同じ種類、ワット数のランプでおすすめ以外のものを使用された場合、短寿命・故障の原因となることがあります。また、保証の対象外となります。



ランプの交換方法

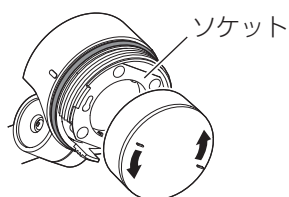
1 カバーを取り外す

- ・カバーを矢印方向に回して外す。



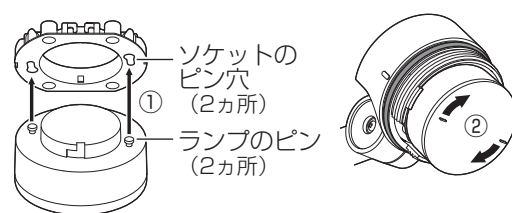
2 ランプを取り外す

- ・カチッと音がするまでランプを矢印方向に回す。(回転角度約15°)



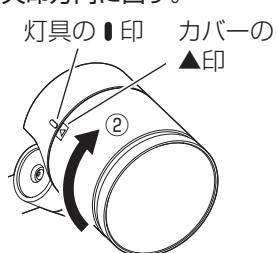
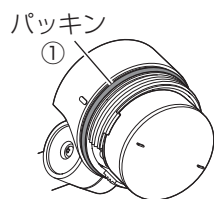
3 新しいランプを取り付ける

- ①ソケットのピン穴にランプのピンを入れる。
- ②カチッと音がするまでランプを矢印方向に回し、確実に取り付ける。(回転角度約15°)



4 カバーを取り付ける

- ①パッキンが灯具のネジ部の根元まではまっていることを確認する。
- ②カバーを灯具にねじ込み、灯具の▼印にカバーの▲印がくるまでカバーを矢印方向に回す。



警告



カバーは確実に取り付ける
締め付けが不完全な場合、
浸水による火災、感電の
おそれがあります。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 検知部(☞2ページ「各部のなまえ」)が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的(6カ月に1回程度)にやわらかい布で清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤などでふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
各モード共通			
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯(またはフラッシング)しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする。	—
	人が静止している	静止している人は検知しません。	👉 2ページ 「センサの検知範囲」
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯(またはフラッシング)する(検知部は赤く点灯*していない)	検知範囲に人以外の熱源がある 例)換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雷など	センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため人以外の熱源でも点灯(またはフラッシング)する場合があります。(故障ではありません)	👉 2ページ 「センサの検知範囲」
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯する(検知部は赤く点滅*している)	電源を投入した直後である	電源を投入した直後、約40秒間は必ず点灯します。	—
	停電から回復した直後である		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している(検知部が赤く点灯*している)	壁スイッチを意図せず操作して、連続点灯に切り替わっている	壁スイッチを素早くOFF→ON(約1秒以内)にすると、センサでの点灯に戻ります。(検知部が赤く点灯*しているのが消えます)	👉 3ページ 「人がいないときも点灯したままにする(連続点灯)」
	短い停電により、意図せず連続点灯に切り替わっている		
人が近づいても検知しにくい	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する。	👉 2ページ 「センサの検知範囲」
	検知部に汚れや水滴などが附着している	検知部をやわらかい布などでふく。	👉 6ページ 「お手入れについて」
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません。	👉 2ページ 「センサの検知範囲」
点灯保持時間が短い	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが「テスト」になっている	ツマミを一旦左いっぱい回して「テスト」の位置以外で使用する。	👉 2ページ 「調整ツマミのはたらき」

*)周囲が明るい場合は検知部の点灯・点滅が見えにくくなります。検知部を手で覆うなどして確認してください。

防犯すぐモードで使用している場合

一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	👉 4ページ 「調整ツマミを設定する」
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	「防犯すぐモード」で使用している場合は、周囲が明るいときも人が近づくとフラッシングします。		👉

防犯設定時間後モードで使用している場合

検知範囲を人が通ったのに照明がフラッシングしない	検知範囲を素早く通り過ぎた	検知範囲を素早く通り過ぎた場合は、設定時間を過ぎても、照明はフラッシングしません。	👉
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	👉 4ページ 「調整ツマミを設定する」
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	「防犯設定時間後モード」で使用している場合は、周囲が明るいときも設定時間、器具の検知範囲内で動きつづけるとフラッシングします。		👉

ON/OFFモードで使用している場合

周囲が明るいのに人が近づくと照明が点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「テスト」または「明」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗」の方向に回す。	👉 5ページ 「調整ツマミを設定する」
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯しない	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	点灯する周囲の明るさツマミを「明」の方向に回す。	👉

明るさセンサモードで使用している場合

周囲が明るいのに照明が点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「テスト」または「明」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗」の方向に回す。	👉 5ページ 「調整ツマミを設定する」
-----------------	---------------------------------	--------------------------	------------------------

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切る
- ②約10秒以上経ってから再び電源を入れる

●上記の点検でなお異常がある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店にご相談ください。

仕様

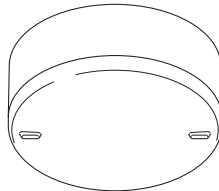
使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	付属ランプ	口金	使用環境
AC100V	50/60Hz共用	5.9W	0.10A	LEDフラットランプ LLD2000LCB1	GX53-1	屋外用

- ランプの寿命は、40,000時間です。(照明器具の耐用年限とは異なります。)
ランプの寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- 必ず適合ランプをご使用ください。

適合ランプ

LEDフラットランプφ70

品番 LLD2000LCB1



安全上のご注意

必ずお守りください

警告	●取り付け・取りはずしや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。(感電の原因) ●非常用照明器具、誘導灯器具、水銀灯器具などでは、絶対に使用しないでください。(破損、発煙の原因)	●直流電源では絶対に使用しないでください。(破損、発煙の原因) ●破損したランプは使用しないでください。(けが、感電の原因)
	●紙や布などでおおったり、燃えやすいものを近づけないでください。(火災、器具過熱の原因) 禁止 ●電源を入れた状態や電源を切った後しばらくの間は、ランプが熱いので触れないでください。(やけどの原因) ●当てたりして傷をつけないでください。(破損、けがの原因) ●水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しないでください。(破損、絶縁不良の原因) ●点灯中のランプを直視し続けないでください。(目を傷める原因)	●シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤でふかないでください。(破損の原因) 禁止 ●お手入れは、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽くふき取ってください。 ●温泉地など酸や硫黄などの腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。(短寿命・落下・漏電・破損の原因) ●ランプはソケットに確実に取り付けてください。(落下の原因)

使用上のご注意

- 交流100V、周波数50/60Hz以外の電源で使用しないでください。
- ランプ周囲温度が0℃~40℃の範囲で使用してください。
- 以下の条件を満たす場合、屋外器具での使用が可能です。
 - ・下面開放を除く防雨型、または防湿型・防雨型の器具で使用すること。(水滴、結露による故障の原因)
 - ・ランプ周囲温度0℃~40℃の範囲で、点灯時に器具に直射日光があたらない場所で使用すること。(水滴、結露による故障、温度過熱による短寿命の原因)
 - ・屋内配線に接続された器具(宅内のプレーカーに接続された器具)を使用すること。(雷などの高電圧による短寿命の原因)
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯すると、雑音が入ることがあります。(雑音が入る時はランプから1m以上離してご使用ください。)
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯すると、リモコンが誤作動することがあります。
- バーコードリーダーの近くで点灯するとバーコードが読み取れない場合があります。
- 分解や改造はしないでください。LED素子などは交換できません。
- 水洗いは絶対にしないでください。
- LED素子にバラツキがあるため、同じ品番の商品でも光色・明るさが異なることがあります。
- 外觀などの仕様は、予告なく変更することがあります。
- 専用器具でご使用ください。現在ご使用されている器具の適合ランプ品番をご確認ください。

■リサイクル 工具を使用しないで取り外せる部品(カバー、ガラスグローブなど)を分別して各自治体のルールに従って廃棄してください。

●〈照明器具〉安全チェックシート ●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

	安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順	安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順
		/	/	/	/	/			/	/	/	/	/	
このような症状はありませんか	1.スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは危険な状態になっていますので、使用を中止し故障や事故の防止のためお取り替えをおすすめします。	1.購入後、10年以上経過している。						○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	2.プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。							2.ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。						
	3.プラグやコードなどが異常に熱い。							3.カバーなどに変色・変形がある。						
	4.こげくさい臭いがある。							4.塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
	5.点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。							5.器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						
	6.コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。							上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。						

取説コード

EXM-097

202302A_1009
202412B_1009